

## 取扱説明書

### ZETA X-LAP

この度はZETA商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
下記の内容をよくご覧になり正しく作業を行ってください。

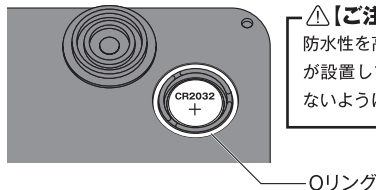
#### 1.注意事項

- ・洗車は本製品を取り外してから行ってください。
- ・モニター本体を高温な場所に長時間放置すると液晶表示に支障をきたす可能性があります。
- ・本体とバーパットの清掃時にシンナー・ベンジン等の有機溶剤を使用しないでください。
- ・電池は付属しておりません。コイン型電池「CR2032」のご購入をお願い致します。

- ・対応温度は0℃～ 40℃です。低温度時は液晶の反応が鈍くなる可能性があります。
- ・既に車両に装着されている純正部品以外の製品、部品等によって本製品と干渉し使用できない場合があります。
- ・異常が認められた場合は作業を中断し、弊社までお問合せ下さい。

#### 2.電池について

出荷時の状態では電池は付属していないため、購入をお願い致します。使用電池はコイン型電池「CR2032」を使用してください。電池の向きは+側が表に見えるように取付けてください。

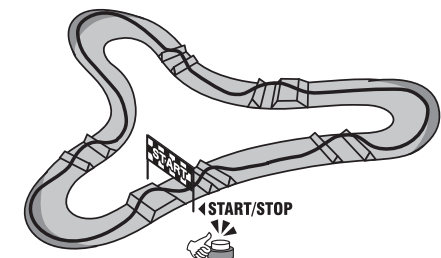


△【ご注意】  
防水性を高めるため、蓋部分にOリングが設置してあります。交換時に紛失しないようにご注意ください。

#### 3.モード説明

##### LAPモード

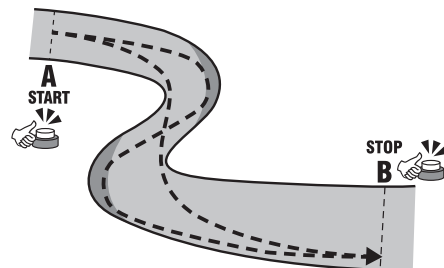
自ら定めたコース上のポイント(スタート/ゴール)を通過する時に、手元のスイッチを押すことにより周回毎のタイムを計測できます。計測結果が15秒間モニターに表示されるため、走行しながらタイムの確認が可能です。トータルタイムとファステストタイムの確認もでき、走行時間を確認したり、ファステストタイムを意識しながらライディングをすることができます。



##### INTモード

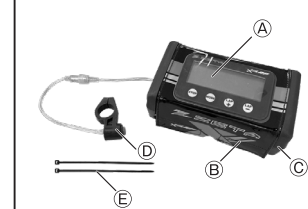
ポイントを絞り込み練習する場合に最適な計測モードです。自ら定めた区間(A地点→B地点)の通過時間を測定できます。また、次の計測を開始するまでの間、計測結果をモニターに表示します。計測結果を数値で比較できるので、走行ラインの選定などに活用できます。また、ファステストタイムも表示されるため、何本も走った中からファステストタイムの確認もできます。

※「INTモード」を使用中はトータルタイムは計測されません。



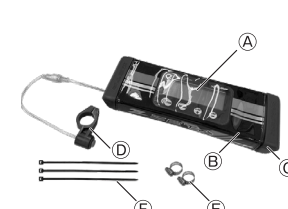
#### 4.各部名称とセット内容

##### SXバー (28.6mmバー) タイプ



- ①A モニター本体……………1 個
- ②B SX 用バーパッドカバー……………1 個
- ③C SX 用バーパット……………1 個
- ④D PBS(プッシュボタンスイッチ) ……1 個
- ⑤E 結束バンド……………2 個

##### CXバー (22.2mmバー) タイプ



- ①A モニター本体……………1 個
- ②B CX 用バーパッドカバー……………1 個
- ③C CX 用バーパット……………1 個
- ④D PBS(プッシュボタンスイッチ) ……1 個
- ⑤E クランプ……………2 個
- ⑥F 結束バンド……………3 個

##### モニター&スイッチ

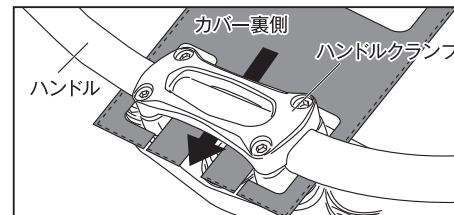


- ①A モニター本体……………1 個
- ②B PBS(プッシュボタンスイッチ) ……1 個

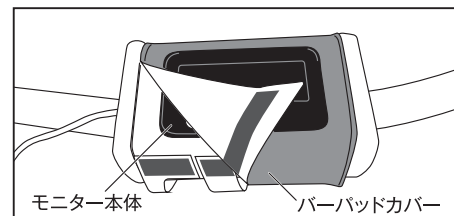
#### 5.取付け方

##### SXバー (28.6mmバー) タイプ

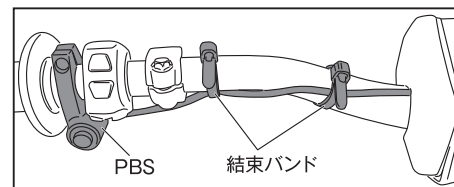
- ①SX用バーパッドカバーを本体から一旦外し、ハンドルクランプの下に通します。



- ②モニター本体がSX用バーパットに付いた状態でハンドルバークランプにセットし、バーパッドカバーを巻きつけます。

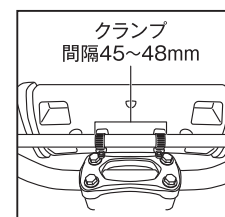


- ③PBSを取付けます。グリップから5～10mmほど離して取付けると、走行中に押しやすくなります。結束バンドを使用し、走行の邪魔にならないようにケーブルをハンドルバーに固定してください。

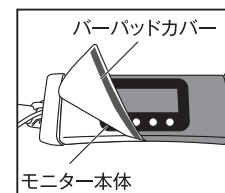


##### CXバー (22.2mmバー) タイプ

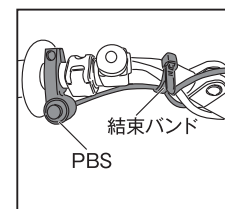
- ①CX用バーパッドカバーを本体から一旦外します。クランプをブレースに取付けます。CX用バーパットの裏の溝に合うように、間隔を45～48mm開けます。



- ②モニター本体がCX用バーパットに付いた状態でバーパッドをクランプにセットし、CX用バーパッドカバーを巻きつけます。



- ③PBSを取付けます。グリップから5～10mmほど離して取付けると、走行中に押しやすくなります。結束バンドを使用し、走行の邪魔にならないようにケーブルをハンドルバーに固定してください。



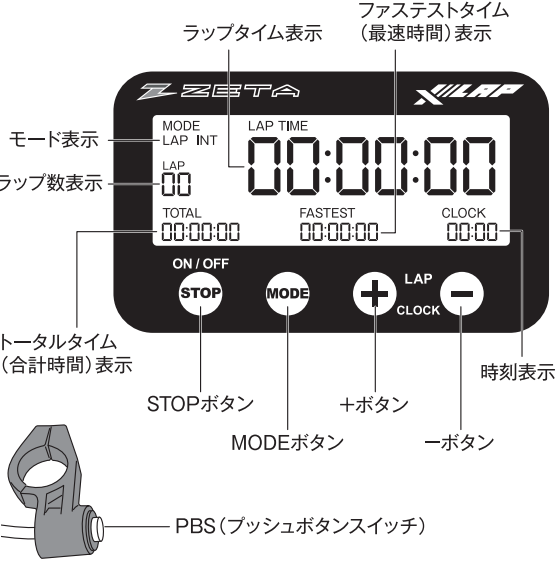
- ④フロントカバーの巻き付け部分を結束バンドで固定します。

※車種によっては巻き付け部分に穴のない車両がありますが、その場合は穴あけを行ってください。



6.使用方法

■各ボタンの名称と画面表示



■各ボタンの役割

| ボタン  | 動作                   | 押し時間  |
|------|----------------------|-------|
| STOP | 電源ON・OFF             | 3.0 s |
|      | 計測終了                 | 0.5 s |
|      | (時刻合わせモード時) 時刻合わせ終了  | 0.5 s |
| MODE | 計測モード切替 (LAP⇔INT)    | 0.5 s |
|      | 時刻合わせモード選択           | 5.0 s |
|      | (時刻合わせモード時) 「時間⇔分」切替 | 0.5 s |
| +    | 計測データ確認 進む           | 0.5 s |
|      | (時刻合わせモード時) 進む       | 0.5 s |
| -    | 計測データ確認 戻る           | 0.5 s |
|      | (時刻合わせモード時) 戻る       | 0.5 s |
| PBS  | 計測開始・中間計測            | 0.5 s |

※計測を終了した状態で5分以上動作がない場合は自動的に電源がOFFになります。

■時刻合わせ

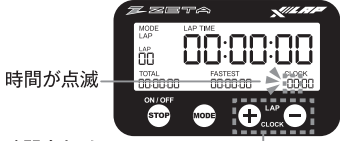
- 1) STOPボタンを3秒長押しし、電源を入れます。



- 2) MODEボタンを5秒長押し時刻合わせモードにします。



- 3) 時間が点滅し、+と-ボタンで時間を合わせます。



- 4) MODEボタンを押し、「分」に切り替えます。



- 5) 分が点滅し、+と-ボタンで分を合わせます。



- 6) STOPボタンで終了します。



■LAPモード

- 電源ON～MODE選択

- 1) STOPボタンを3秒長押しし、電源を入れます。



- 2) MODEボタンを押すと、左上に「MODE」と表示され、その下に「LAP」が表示されます。



- 計測開始～計測終了

- 1) 「LAP」が表示された状態でPBSを押すと、計測が開始されます。



- 2) もう一度PBSを押すと2周目の計測を開始します。それと同時に1周目のタイムを15秒間表示します。



※計測可能周回数は99周です。99周に達しますと、計測を自動停止します。



ラップタイムを15秒間表示

- 3) STOPボタンを押すと計測を終了します。

※「STOP」ボタンを押すまでの時間も「FASTEST」への計上対象です。ご注意ください。



- 計測データの確認

計測終了後、+と-ボタンを押してデータの確認をします。



押して調整

- 計測データのリセット

+と-ボタンを同時に3秒長押しします。



同時に3秒長押し

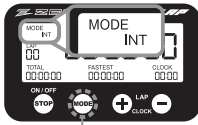
■INTモード

- 電源ON～MODE選択

- 1) STOPボタンを3秒長押しし、電源を入れます。



- 2) MODEボタンを押すと、左上に「MODE」と表示され、その下に「INT」が表示されます。もう一度押すと「INT」が表示されます。



- 計測開始～計測終了

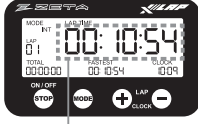
- 1) 「INT」が表示された状態でPBSを押すと、計測が開始されます。



- 2) もう一度PBSを押すと計測が完了します。再度、PBSを押されるまで計測タイムは表示されます。計測は1)～2)を繰り返します。



※計測可能回数は50回です。50周に達しますと、計測を自動停止します。



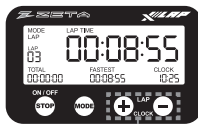
次の計測がスタートするまでタイムを表示

- 3) STOPボタンを押すと計測を終了します。



- 計測データの確認

計測終了後、+と-ボタンを押してデータの確認をします。



押して調整

- 計測データのリセット

+と-ボタンを同時に3秒長押しします。



同時に3秒長押し